

# 農の架け橋



発行：鹿行農林事務所 経営・普及部門

(銚田地域農業改良普及センター)

TEL:0291(33)6193

FAX:0291(33)6725

寒暖差が大きくなりやすい時期です。体調管理を徹底しましょう！

## 令和4年度銚田地域農村青少年プロジェクト実績発表会を開催しました！

1月18日(水)、銚田合同庁舎において新型コロナ対策を徹底し、標記発表会を開催し、農業学園生や銚田市4Hクラブ員、助言者の方々などあわせて15名が参加しました。発表会では、プロジェクト活動発表として銚田市の藤枝翔平さんが「大玉トマト新規就農からの第一歩 ～収量30t/10aを目指して～」について、意見発表として銚田市4Hクラブの鈴木徹哉さんが、クラブ員が共同で取り組んだ「低温貯蔵で焼き芋『べにはるか』の食味向上へ」について発表を行いました。助言者から「若い農家が農業の魅力を積極的に発信して欲しい」との意見が出されたほか、参加者からは「焼き芋の糖度向上に向けて今後の課題は何か」などの質問が出され、活発なやりとりが行われました。



## 第5回農業学園(土づくりの基礎)を開催しました！

1月18日(水)、銚田合同庁舎内で開催し、9名の農業学園生が参加しました。当講座では、土壌のpHやECなどの説明を行った後、施肥設計について演習を通して学んでいただきました。講座終了後のアンケートでは、「土壌分析と肥料計算方法を活用していきたい」等の感想があり、有意義な講座となりました。



## サツマイモ基腐病の防除対策(育苗期から植付期)

令和5年1月、茨城県を含めた30都道府県で本病の発生が確認されています。感染拡大防止のため、引き続き注意が必要です。

### 1. 「持ち込まない」対策

苗の増殖はウイルスフリー苗を使用しましょう。種いもを使用する場合は、栽培履歴が把握できており、病害等が発生していないほ場のいもを使用しましょう。

### 2. 侵入に備えた対策

排水の悪いほ場では、発病が助長される傾向があるため、排水対策を徹底しましょう。ほ場ごとに定植した苗の苗床の場所、採苗日等を記録しましょう。

### 3. 薬剤使用による対策(令和5年1月11日現在)

	薬剤名	使用量・希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	分類コード	使用方法
コンテナ等の消毒	ケミクロンG	500倍	-	-	-	瞬間浸漬
土壌消毒※1	バスアミド微粒剤	30kg/10a	植付21日前まで	1回※2	8F	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する
	ガスタード微粒剤	30kg/10a	植付21日前まで		8F	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する
種いも消毒※1	トップジンM水和剤	200~500倍	貯蔵前~伏せ込み前	1回	1	30分間採苗用種いも浸漬
苗消毒※1	ベンレート水和剤	500~1000倍	植付前	1回※2	1	30分間苗浸漬
	ベンレートT水和剤20	200倍	植付前		M03、1	30分間苗浸漬
	トリフミン水和剤	500倍	植付前		1回	3

※1 農薬を使用する際は、ラベルを見て対象作物、使用量・希釈倍数、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用をしないようにしてください。

※2 共通する有効成分が含まれているため、総使用回数に注意してください。

# 生産者が自分でできるハウス強靱化(妻面の補強)

パイプハウスでは、強風によってハウスの出入口や被覆資材の一部が破損し、ハウス内に風が吹き込んだ場合に、ハウスが上方に持ち上げられ、アーチパイプが外側に跳ね上げられたり、基礎部分が浮き上がったりする破損が見られる。また、強風が妻面から奥行方向に吹いた場合に、妻面から奥に向かって、アーチパイプが将棋倒しのように倒されるなどの破損が見られる。

1 補強方法 (3間ハズ間口5.4m 奥行50m パイプ径22.2mm アーチ幅45cmの場合)

(1) 方丈による補強

- ①妻面の支えとして、方丈(パイプ径22.2mm×長さ約1.2mの直管パイプ)を2本入れる(写真1)。
- ②方丈(2本)を妻面の横直管パイプと棟パイプに、ユニバーサルロングでそれぞれ接合する(写真1)。

(2) 防風ネット展張による補強

両側の妻部に近い3スパン分(1.35m)に防風ネット(幅1.5m)を張り、防風ネットの上からスプリングやパッカーで固定し、被覆資材のめくれを防止する(図1)。

※地面に近い裾にビニベットの設置されていない場合、ビニベットの妻面から1.5mの部分までアーチパイプにビス止めして設置する。

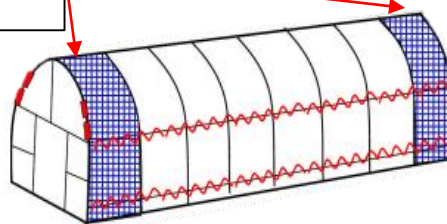
3) 妻面筋交いの接合金具の交換

妻面を支える筋交いの接続金具をフックバンドからアングルバンドに交換する(パイプライヤー使用)。



写真1

防風ネットの被覆  
妻部に近い部分の1.35mぐ  
らいに防風ネットを張り、  
被覆の破れを防止する



スプリング、パッカーの利用  
隙間のできやすい部分、めくり  
やすい部分をしっかりと固定する。

図1

2 使用資材 (10a当たり: 間口5.4m 奥行50m×4棟)

(1) 方丈による補強

約8,200円/10a (資材費のみ)

- ①直管パイプ (パイプ径22.2mm×長さ1.2m) 4本/棟×4棟 計16本
- ②ユニバーサルロング (22×22) 方丈直管パイプ両端 8本/棟×4棟 計32個

(2) 防風ネット展張による補強

約14,100円/10a (資材費のみ)

- ①防風ネット(幅150cm×長さ10m 目合い4mm) 2枚/棟×4棟 計8枚
- ②スプリング(被覆2m) 8本/棟×4棟 計32本
- ③パッカー(22mm用) 20個/棟×4棟 計80個

(3) 妻面筋交いの接合金具の交換

約35,000円/10a (資材費のみ)

アングルバンド(22mm用) 40個/棟×4棟 計160個

## 春先の温室・トンネル管理のポイント

春先は日差しが強くなり、気温が上昇して温室・トンネル内の環境が日々大きく変化します。植物にとって快適な環境を維持してあげましょう。環境測定装置を導入すると、環境変化を数値でつかむことができるので有効です(図)。

- 温度の変化: 晴天になると温室・トンネル内の温度は大きく上昇します。ちょっとした晴れ間でも油断せず、換気量を調整して適温を保つようにしましょう。
- 湿度の変化: 急激な温度の変化により、温室・トンネル内は結露して高湿度になり、病害が発生しやすくなります。暖房を朝方や夜間に稼働させたり、風下側を少しだけ換気するなどして適湿度を保つようにしましょう。
- 害虫防除: 気温が上昇して換気が盛んになると、温室・トンネル内へ害虫が侵入しやすくなります。特に微小害虫は増殖速度が速いので、よく圃場を見て適期防除を心がけましょう。

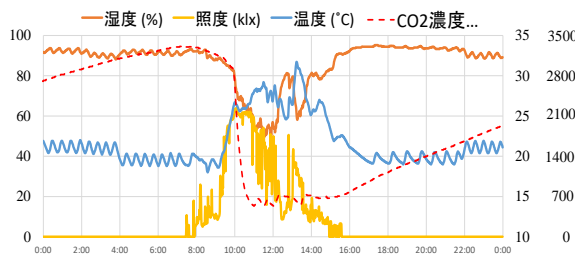


図 環境測定装置による温室内測定例

## 銚田市「農業法人 深作農園 有限会社」が総理大臣賞を受賞されました!

農業等で優れた成果を上げた生産者を表彰する「農林水産祭」で、深作勝己さん(銚田市)が代表を務める「農業法人深作農園有限会社」が、多角化経営部門の内閣総理大臣賞を受賞されました。土作りにこだわった独自の農法を軸に農作物生産に取り組み、持続可能な循環型農業とICTを活用したスマート農業を実践しています。また、自社生産したサツマイモとメロン、イチゴを使ったスイーツの開発を手掛け、カフェを併設した「ファームパティスリー・ル・フカサク」をオープンし、農園カフェを展開しています。こうした取り組みの他、女性が従業員の75%を占め、各部門でリーダーを務めていることや育児休業制度が整っていること等が高く評価され、今回受賞となりました。誠にありがとうございます。

